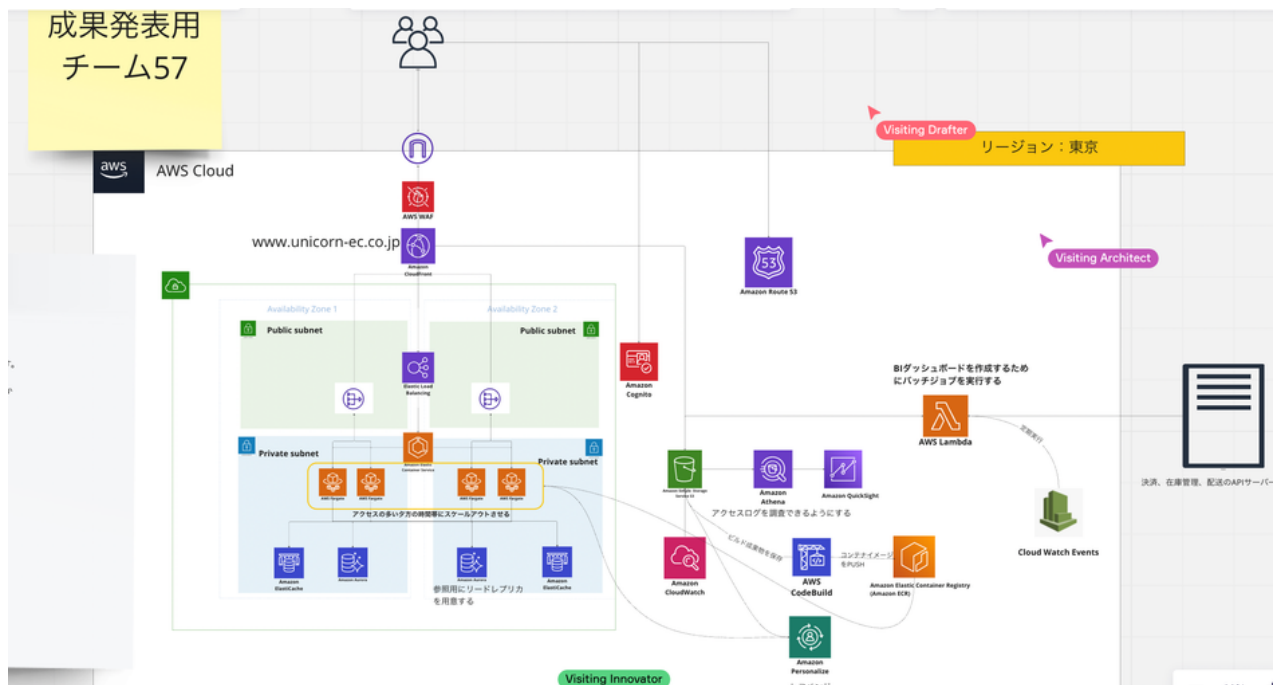
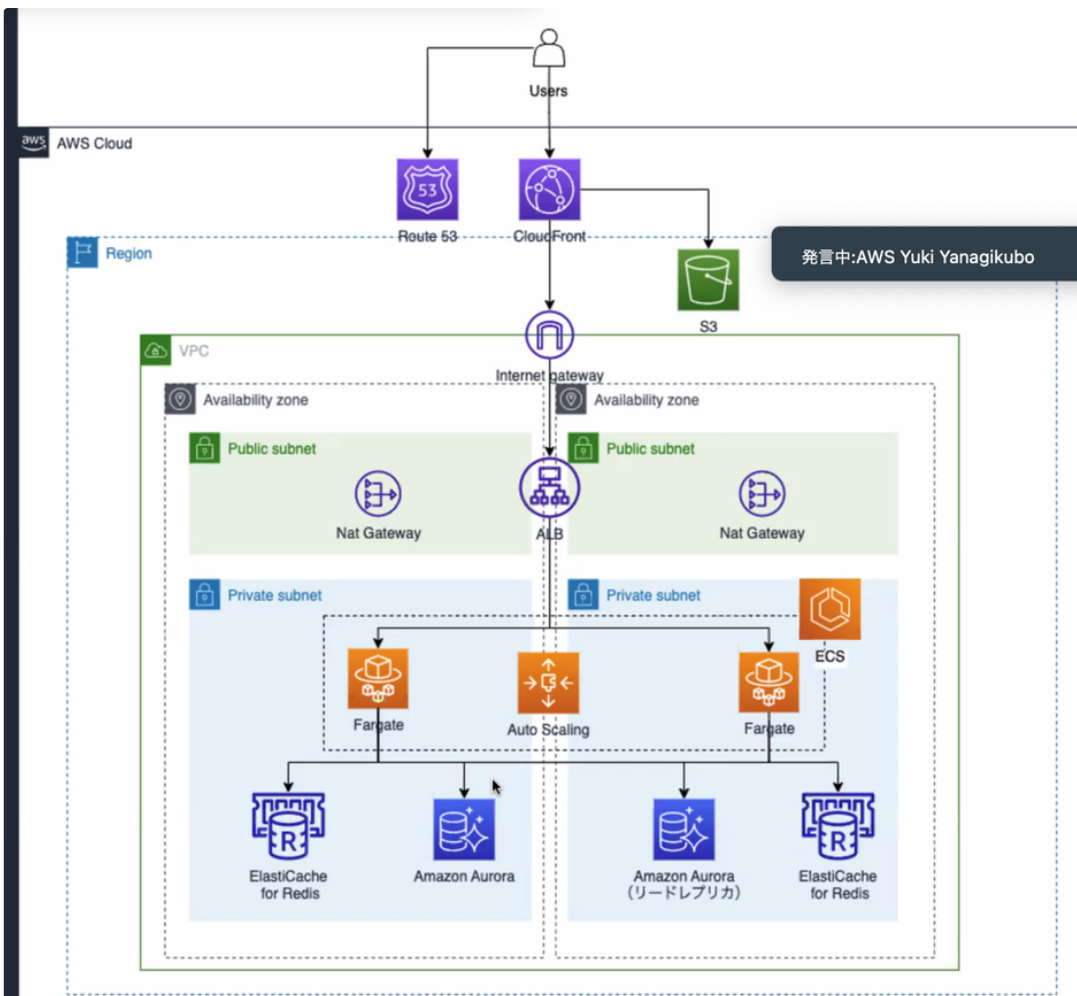


AWS Jump Start 設計編2日目

- WAFは自分が書いたコードへの防御なので、route 53前にはおかない。
- BIツール
 - S3→Athena
 - ログ→Cloud watch→BIツール(Quick Sight)
 - データ量が気になる
 - DB→BIツール(Quick Sight)
 - データ量が気になる
- cognito
 - トークンがブラウザに変える。都度リクエストごとに認証するが、それをサーバでやってもいいし、API gatewayでやってもよい
- 成果物

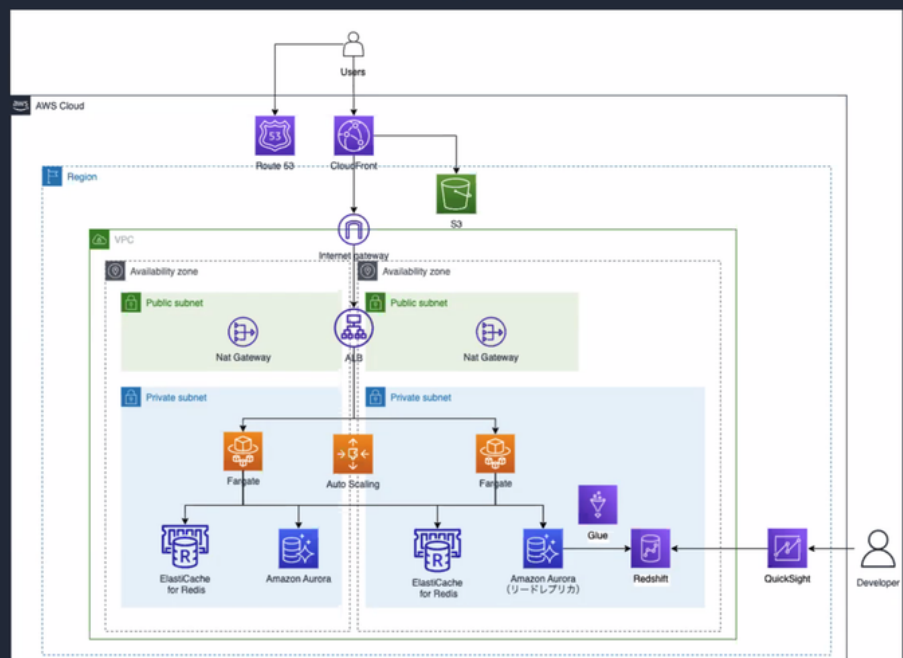


-
- VPCの中か外か問題
 - VPCのような独自のネットワークを作成しその上に立ち上げるリソースと、VPCの外に存在するサービスがあるのは仰る通りですし、初学者にとって悩ましい点だと自分も思います。代表例としましては、
 - ALB, EC2, ECS, RDS, ElastiCacheなどはVPC上に、より正確にはサブネット(サブネットはAZに紐づく)上に設置するサービスです。
 - どのデータセンターに何台どんなスペックのサーバーを立てる というような粒度で考えるサービスです。
 - 一方で、Route53、CloudFront、S3、DynamoDB、API Gateway、Lambda等それ以外の多数のサービスはVPCの外のサービスとなります。
 - これらは裏側ではもちろん3つのAZを利用し、ネットワークやサーバーが動いていますが、それらを抽象的に一つのリソースとして見せているので、VPCやAZのような粒度の外の話となっています。
- 回答

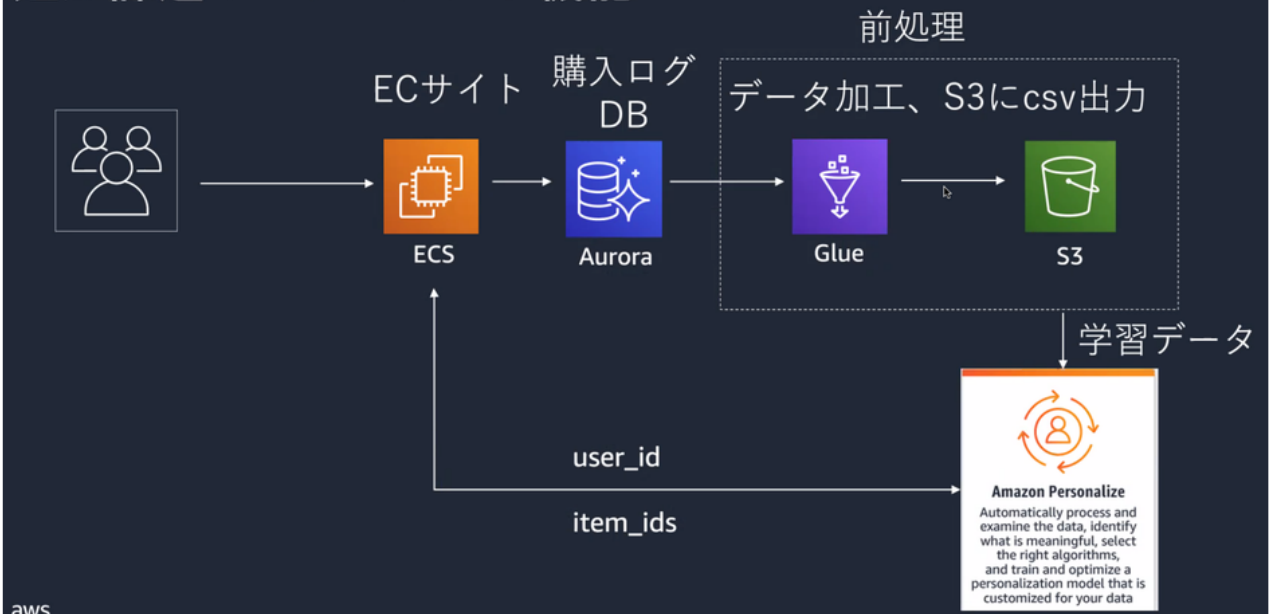


AWS JUMPSTART 2023

追加課題 2 – BIダッシュボード機能



追加課題 3 - レcommend機能



aws

nanami-chiba



